

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表 集計結果

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			必要に応じてアコーディオンカーテンを使用して空間を分けている。
	②	職員の配置数は適切であるか		○		より個別の支援を目指すには増員も必要になると考えられる。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			個室の扉が狭く、車椅子が通らない可能性もあり、今後の課題である。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○		今後各業務について計画を立てていく。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか			○	同上。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか			○	同上。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	同上。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			外部研修の機会を確保しているが、参加が少ない現状あり。 施設内研修の充実も行っていく。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			利用児童にも理解できる計画書作り(絵や写真など)が課題である。
適切な支援の提供	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		現行の書式を必要に応じてその都度改善していく。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか		○		楽しく活動できるような立案がなされている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか		○		・パターン化しないようにしている。 ・利用者によっては固定化されているが、固定化することで落ち着いているので、個々に合わせて
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		・利用者の観察をしながら、より細やかにしていく。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか		○		・児童発達支援管理責任者を中心に計画作成には全職員が参加している。

	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		○		・支援内容についてより細かく話し合っていく。 ・生活介護事業との連携が課題。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			前日休みだった職員でも理解できるような記録の残し方をしていく。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			ただその日にあった出来事を記録するのではなく、個別支援計画に基づいた記録の仕方を各職員が身に付けていく必要がある。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか			○	計画の作成を進めている段階である。モニタリング等は今後実施していく。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか		○		地域交流が課題。どのような形でなら可能か話し合っていく。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			必要に応じて複数人で参加するなど工夫をしている。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか		○		・送迎時などを使って先生との情報交換をしているが、学校よりも家族から情報を得ていることが多い。より学校ともより密にかかわっていく。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	現在対象外。必要に応じて行っていく。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	必要に応じて対応していく。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	必要に応じて行っていく。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		研修などあれば積極的に参加していく。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	今後必要に応じて検討していく。

	⑳	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			参加はできている。内容をより充実させるために積極的に発言をしていく。
	㉑	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか		○		共通理解にまでは至っていない。今後密に行っていく。
	㉒	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	今後、必要に応じて検討していくが、その際、支援が押し付けにならないように注意する。
保護者への説明責任等	㉓	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか		○		・契約時、丁寧に説明をしている。 ・支援員も契約の際に同席するなどして理解を深めていくとなお良い。
	㉔	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		○		・ケア会議等で関係機関と連携して、保護者への助言など行っている。
	㉕	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	今後、その必要性を判断し、検討していく。
	㉖	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか		○		まだ苦情は寄せられていないが、体制の整備はできているため、その都度対応していく。
	㉗	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか			○	ホームページの有効利用を検討中である。
	㉘	個人情報に十分注意しているか	○			左記に加え、写真の利用も配慮している。
	㉙	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			コミュニケーションツールなどより充実していく必要があると思われるが、現在検討中である。
	㉚	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	今後の課題であり、その実施可能性を検討しているところである。
非常時等の対応	㉛	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		各種マニュアルを用意しているが、必要に応じて、修正を行う。また、職員の共通理解を深めていく。
	㉜	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○		実施していく。

④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		○		職員が外部研修に出向き、各職員に周知している。 チェックリストなど自主的に行っていく。
④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		現在、利用はないが、書面等用意をしている。 利用契約の際には必ず必要性の確認を行っている。
④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		現在対象者がいないが、必要に応じて行っていく。
④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか			○	主体的に書く習慣を身に着け、事故を未然に防ぐよう努力していく。